

医療安全対策部

1. スタッフ（平成28年4月1日現在）

部長（医師）	新保 昌久（専）
副部長（医師）	○南 孝臣（兼）
副部長（医師）	佐久間康成（兼）
副部長（医師）	小林 高久（兼）
副部長（看護師）	○上野 久子（兼）
看護師	◎寺山 美華（専）
看護師	◎竹野井さとみ（専）
教授	河野龍太郎（兼）
講師	鈴木 義彦（兼）
医師	柳澤 智彦（兼）
医師	笹沼 秀幸（兼）
講師	浅田 義和（兼）
医師	法月正太郎（兼）
薬剤師	須藤 俊明（兼）
臨床工学技士	進藤 靖夫（兼）
薬剤師	中澤 寛仁（兼）
薬剤師	吉岡 崇幸（専）
事務	6名

◎ 専従医療安全管理者

○ 医療安全管理者

2. 医療安全対策部の特徴

附属病院で発生する医療安全上の諸問題について組織横断的に対応する為に、平成15年に医療安全対策室が設置された。医療安全対策室は病院長直轄組織として、専任の看護師や事務職員を配置し、院内で発生する種々の問題に対応する。具体的には院内報告制度の整備、職員教育機会の提供、事例分析、院内巡視、有害事象後の対応などの活動を行ってきた。

しかしながら、医療安全問題に対するニーズは社会的にも非常に高まっており、医療安全対策部の業務内容も、多様でかつ増加の一途を辿っている。

平成16年に医療安全対策室を医療安全対策部として組織改編を行い毎年更なる活動の充実を図っている。

医療安全・患者安全を確保する為には、附属病院内の安全文化の醸成が重要である。これは職員の意識と行動を変えていくことであり、毎日の粘り強い努力の結果として達成できるものだと考えている。

医療安全対策部では、附属病院職員が安全で質の高い医療を提供することで、患者・職員双方にとって信頼のできる病院となるような環境作りを目指している。

3. 実績・クリニカルインディケーター

●業務内容

- 医療安全に関する情報収集、分析、改善策の立案、周知、評価
- 医療安全対策の提案・情報提供（啓発活動）
- 職員に対する教育（講演会、研修会の開催）
- 紛争事例への対応（経営管理課、総合相談室と連携）

●平成27年のおもな活動実績

- 医療安全策講演会（全職員対象）

①医療安全・感染合同講演会

・開催日 5月20日

5月26日（DVD上映会）

5月29日（DVD上映会）

演 題 「医療事故調査制度について」

メディカルシミュレーションセンター

河野龍太郎

参加者 2,039名

②安全塾

・開催日 6月17日

演 題 「予期せぬ急変のケースは急ぎ7000番に連絡を！～医療事故調査制度の施行を目前に控えて～」

医療安全対策部 新保 昌久

参加者 954名

③安全塾

・開催日 7月14日

演 題 「予期せぬ急変・死亡のケースが生じたら～発生後24時間の手順概略と注意点～」

医療安全対策部 市田 勝

” 篠原 和子

参加者 789名

④医療安全対策講演会

・開催日 8月25日

演 題 「新事故調査制度～どのような症例が報告対象か～」

井上法律事務所 山崎 祥光

参加者 600名

⑤安全塾

・開催日 9月24日

9月28日（DVD上映会）

9月29日（DVD上映会）

9月30日（DVD上映会）

演 題 「医療事故調査制度が始まります現場で

の対応について知っておいて頂きたいこと～特に、具体的な連絡手段と現場保存～」

医療安全対策部 新保 昌久

参加者 1,331名

(2) 医療安全に関する主な検討会・勉強会

- 1月・AED研修会
- 2月・AED研修会
 - ・研修医講演会
- 4月・新人職員オリエンテーション
 - ・新人研修医研修会
 - ・新人研修医シミュレーション研修
 - ・新人研修医演習
 - ・新人研修医CV研修会
 - ・新人看護師研修会
 - ・中途採用者・復職者対象講演会
- 5月・中心静脈カテーテル挿入認定講習会
 - ・中途採用者・復職者対象講演会
- 6月・AED研修会
 - ・中途採用者・復職者対象講演会
- 7月・中途採用者・復職者対象講演会
- 8月・中途採用者・復職者対象講演会
- 9月・中途採用者・復職者対象講演会
- 10月・中途採用者・復職者対象講演会
 - ・メディエーション研修会
- 11月・中途採用者・復職者対象講演会
 - ・中心静脈カテーテル挿入認定講習会
- 11月・AED研修会
 - ・中心静脈カテーテル挿入認定講習会
- 12月・AED研修会

(3) 医療安全に関する主な技術研修

- ①中心静脈カテーテル挿入
- ②レジデントオリエンテーション
 - 点滴・採血等の演習
 - 医療安全に関する講義
 - 輸液・シリンジポンプの使い方
- ③新人看護師研修会
 - インスリン 輸液・シリンジポンプ
- ④エコー下中心静脈カテーテル挿入
- ⑤心肺蘇生・AED研修
 - (新人・フォローアップ)

(4) 医療安全管理指針、マニュアル改正等

- ①医療安全管理指針（一部改正）
- ②リスクマネジメントマニュアル
 - (ポケット版) 第6版

(5) あんぜん便り・安全情報

- ①カリウム製剤の投与方法間違い
- ②胸腔ドレーン挿入時の左右取り違い
- ③2014年に提供した医療安全情報
- ④薬剤の投与経路間違い
- ⑤口頭指示の解釈間違い
- ⑥腫瘍用薬処方時の体重間違い
- ⑦小児の薬剤の調剤間違い
- ⑧アドレナリンの濃度間違い
- ⑨採血時の検体容器間違い
- ⑩電気メスの取扱い時の注意について（その2）
- ⑪インシデント発生時現物保存を！
- ⑫脱衣所を外側から扉を開ける方法
- ⑬造影CT検査時に注意

(6) 検討、改善事項等

- ①重症熱傷患者搬送時の対応について
- ②ノイロシート遺残について
- ③中心静脈カテーテル挿入時の血胸について
- ④体幹抑制の苦情対応について
- ⑤上部消化管穿孔の患者への内視鏡施行について
- ⑥DV患者対応について
- ⑦気管カニューレ交換時急変事例について
- ⑧断水に伴う血液透析中断について
- ⑨浴槽での急変事例についての検討
- ⑩T-PAS研修会
- ⑪内視鏡検査における静脈麻酔同意書について
- ⑫脳血栓回収療法について

(7) 医療安全対策委員会（委員17名）

毎月1回 第2火曜日

(8) リスクマネージャー会議

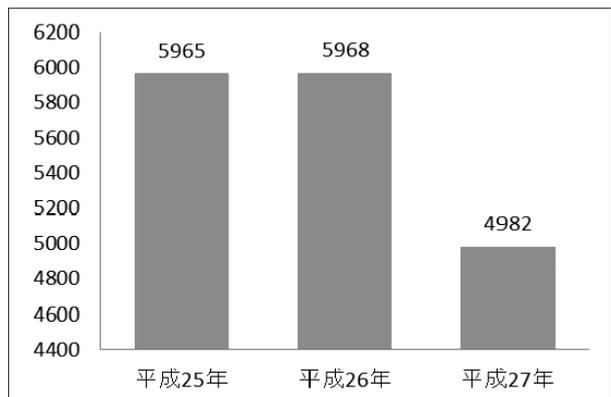
隔月1回 第3木曜日

(9) モーニングカンファレンス

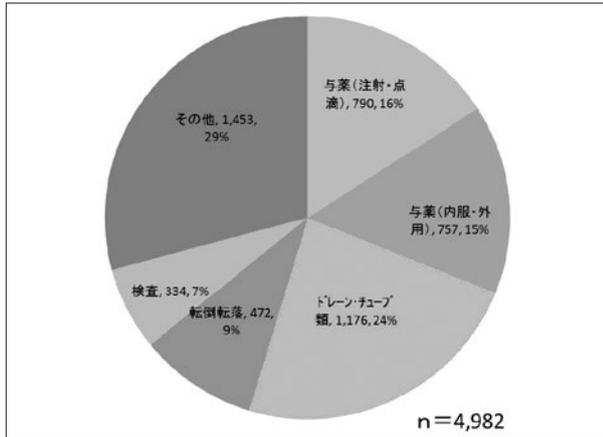
毎週水曜日

(10) インシデント・アクシデントレポート

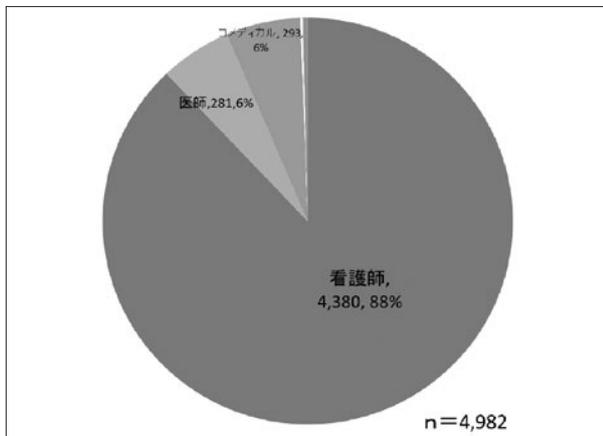
①報告件数比較 (平成25年～27年：1～12月)



②平成27年 種類別報告一覧



③平成27年 職種別報告一覧



(11) 医療機能評価機構患者安全推進協議会との連携

- ・事例報告
- ・研修会の参加

(12) 社会、他の医療機関等に対する貢献

- ・講師として患者安全・医療安全・医療の質に関する情報の提供

4. その他・来年の目標

従来業務に加え来年は以下の諸事項を目標としている。

- ①「インシデント報告の意義」に関する啓蒙を強化し、特に軽微なインシデントの報告増加を目指す
- ②院内巡視の強化
- ③医療安全対策講演会、中途採用・復職者オリエンテーション等における受講管理の効率化と未受講者の解消
- ④院内メディエーターの養成
- ⑤医療事故調査制度を含めた、医療安全関連法規、制度学習と理解をさらに深める
- ⑥新人研修の場での医療安全に関する教育をレベルアップする

⑦新規医療機器の安全使用のための研修会未受講者の解消

これらの目標達成へ向けての努力と並行して、病院内での横断的なコミュニケーションが円滑に進むように支援していきたいと考えている。